

夕焼け 小焼けの 赤とんぼ

10月に入ると、澄み渡った秋空に、たくさん「赤とんぼ」が飛び交います。でも実は、「アカトンボ」という種類のトンボは存在しません。全て「アカネ属」の仲間です。

写真は、「マユタテアカネ」のカップルです。体長は、3～4cm程、成熟すると、オスだけが真っ赤なお腹になります。よく見ると顔面に二つの黒い斑点があり、眉を立てたように見えることからこの名前が付けました。

ところで、「赤とんぼ」という有名な童謡がありますね。皆さん、ご存じでしょうか？



夕焼け小焼けの 赤とんぼ 負われて見たのは いつの日か
山の畑の 桑の実を 小籠につんだは まぼろしか
十五で姐やは 嫁にゆき お里のたよりも たえはてた
夕焼け小焼けの 赤とんぼ とまっているよ 竿の先

歌詞の解釈は諸説あるようですが、筆者はこう考えます。第一節の後節に注目してください。「負われて」となっているのは、「背負われて」という意味です。母ではなく、姐やの背中におんぶされて(負われて)肩越しに見た夕焼けを、母を慕いながら思い返しており、母と生き別れた作詞者自身の不幸な幼少期を物語っています。二節、三節、四節の歌詞もよくかみしめてみると、幼少期から大人になった今も、もう会うことができない母への強く、切ない万感の思いが込められているようです。

この秋、赤とんぼを見掛けたら、この童謡を口ずさんでみてはいかがでしょうか。

森の日記

親子で楽しいひとときを 8月22日(土)

「岐阜県里親会」がちびっこ広場のウッドドームをメイン会場として行われました。

参加者の皆さんは、マジックショーを見学したり、広場にある舟形アスレチックや長いローラー滑り台などの遊具で、元気いっぱい遊んだりしました。また、遊歩道を散策したり、動物や鳥たちと触れ合うなどして、陶史の森の豊かな自然を満喫していました。



教室のご案内

10月

きのご教室 (要申込・定員20人)

10月18日(日) 午前9時～11時30分

陶史の森に生えるキノコを観察し、名前を教わります。

秋の天体観測 (要申込・定員20人、雨天中止)

10月24日(土) 午後6時15分～7時30分

月のクレーターなどを天体望遠鏡で観察します。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

10月25日(日) 午前9時～11時30分

秋の野鳥を観察します。

11月

葉っぱのしおり作り教室 (要申込・定員20人)

11月8日(日) 午前9時～11時30分

色づいた葉っぱを採集し、しおりにします。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

11月22日(日) 午前9時～11時30分

晩秋の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、希望する方に双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

